

短期大学生調査を用いた評価に資する ベンチマーク指標の検討

-保育者養成課程を中心に-

2021年5月30日

日本高等教育学会第24回大会（オンライン）

III-3 部会「卒業生と学習成果」

○山崎 慎一 桜美林大学

堺 完 大分大学

宮里 翔大 桜美林大学（院）

黄 海玉 大学・短期大学基準協会

研究目的

- 本研究は、一般財団法人大学・短期大学基準協会の事業として、短期大学の自己点検・自己評価のために実施している「短期大学生調査」の結果を用い、保育者養成課程を持つ短期大学の現状把握と改善を支えるベンチマーク指標を開発するものである。
- 得られたデータの短期大学における活用に焦点をあてている。

短期大学生調査の概要

- 学習経験や学習成果、進学理由、学修時間、満足度などの質問項目から構成され、短期大学生の間接評価に基づき行われるものである
- 2008年度より研究開発が開始
- 2014年度の現行の調査票になってから述べ12万人以上の短期大学生が参加
- 2018年度より大学・短期大学基準協会の事業化
- 2020年度は67 短期大学（20,302 名）の参加

背景

- 2018年度から、認証評価は第3サイクルに入り、内部質保証の実質化や学習成果の可視化が重視されるようになり、「短期大学生調査」のような学習成果を示すエビデンスの重要度は高まっている。
- 短期大学生調査の結果をベンチマークとして活用する方法も模索されている（Yamazaki S., Miyazato S. (2020)）。
- 保育士養成課程等検討会（2017）は、「保育士養成課程等の見直しについて～より実践力のある保育士の養成に向けて～（検討の整理）」を報告し、質の高い養成課程の編成と効果的かつ効率的な教育が実施できるよう見直しの観点や方向性を示す。

問題意識

- 短期大学における評価活動は一般化しており、「短期大学生調査」をはじめとした種々の調査が存在
- データはあるが、実際に活用出来ている短期大学は少ない
- 現在、短期大学生調査では、調査結果全体、分野別、自短大内の経年（複数年参加校）といった平均値の比較に留まっている
- 短期大学生調査の結果の活用を促す仕組みが必要

研究方法 (1)

- 2015年度から2019年度の「短期大学生調査」の結果のうち、保育者養成課程を持つ学科を対象
- 使用した質問は「学習経験」と「学習成果」に関する項目
- A短期大学を比較対象 (N=449)

年度	2015	2016	2017	2018	2019
回答者数	7,978	8,141	7,551	8,122	9,267
短期大学数	44	42	39	47	58

大項目	質問項目	度数	平均値	標準偏差
学習経験	プレゼンテーションをする	40955	2.56	.809
	学生同士でディスカッションをする	40952	3.27	.725
	教員が提出物に添削やコメントをする	40978	2.92	.788
	文献や資料を集める	40947	2.56	.769
	図書館を利用する	40973	2.54	.860
	体験的な学習	40953	3.33	.754
	キャリアに関する教育	40901	2.52	.933
	定期的な小テスト	40946	2.97	.778
	宿題や課題	40963	3.23	.740
	提出期限までに宿題を完成できない	40963	1.98	.916
	授業をつまらなく感じた	40931	2.85	.768
	授業に遅刻や欠席をした	40970	2.32	.929
	授業で学んだ内容について学外の人と話す	40939	2.26	.917
	正解や答えのない問題や課題について考える	40926	2.76	.833
	レポートの書き方や文章表現を学ぶ	40965	2.88	.765
	パソコンなどの情報機器を使う	40981	3.02	.794
	外国語を使う	40916	2.21	.900

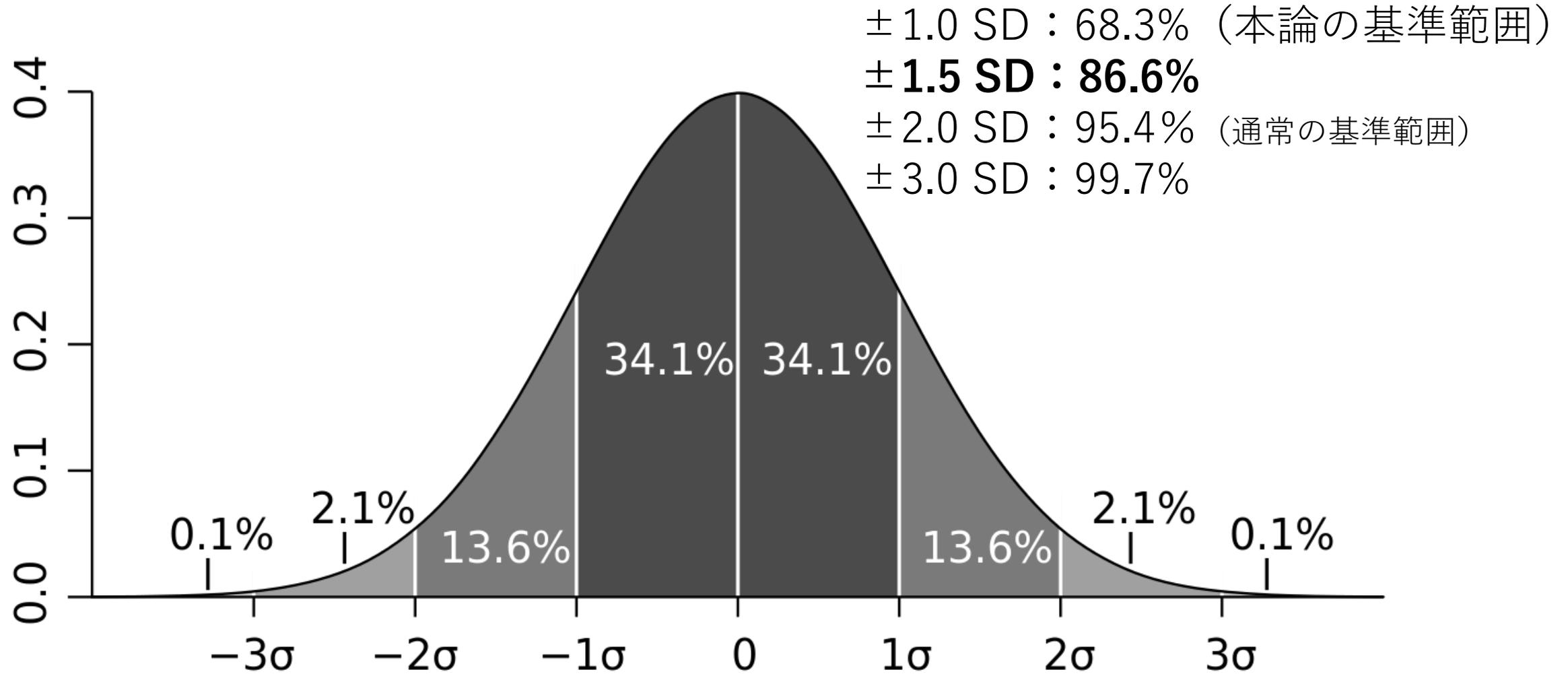
大項目	質問項目	度数	平均値	標準偏差
学習成果	一般的な教養	40925	3.72	.707
	専門分野や学科の知識	40941	4.25	.672
	論理的に考える力	40893	3.64	.670
	異なる文化や考えを持つ人々を理解する力	40919	3.71	.734
	リーダーシップ	40922	3.41	.731
	他の人と協力する力	40902	3.94	.759
	現代社会の抱える様々な問題を理解する力	40891	3.68	.705
	文章（レポートなど）を書く力	40919	3.78	.741
	本や資料などを読み解く力	40901	3.49	.687
	数値やデータを理解する力	40890	3.26	.686
	外国語を使う力	40877	3.02	.808
	コミュニケーション能力	40902	3.73	.758
	プレゼンテーションをする力	40900	3.44	.713
	PCなど情報機器を使う力	40889	3.58	.766
	自学自習の能力（習慣）	40883	3.29	.784
	挑戦する力（チャレンジ精神）	40900	3.68	.758
	ねばり強さ	40912	3.65	.763
	計画性・スケジュール管理能力	40887	3.69	.763
	キャリア意識	40891	3.52	.707
	自己の理解	40889	3.63	.708
地域や社会に貢献する意識	40886	3.57	.719	
選挙への関心	40861	3.22	.730	

研究方法（2）基準範囲の適用

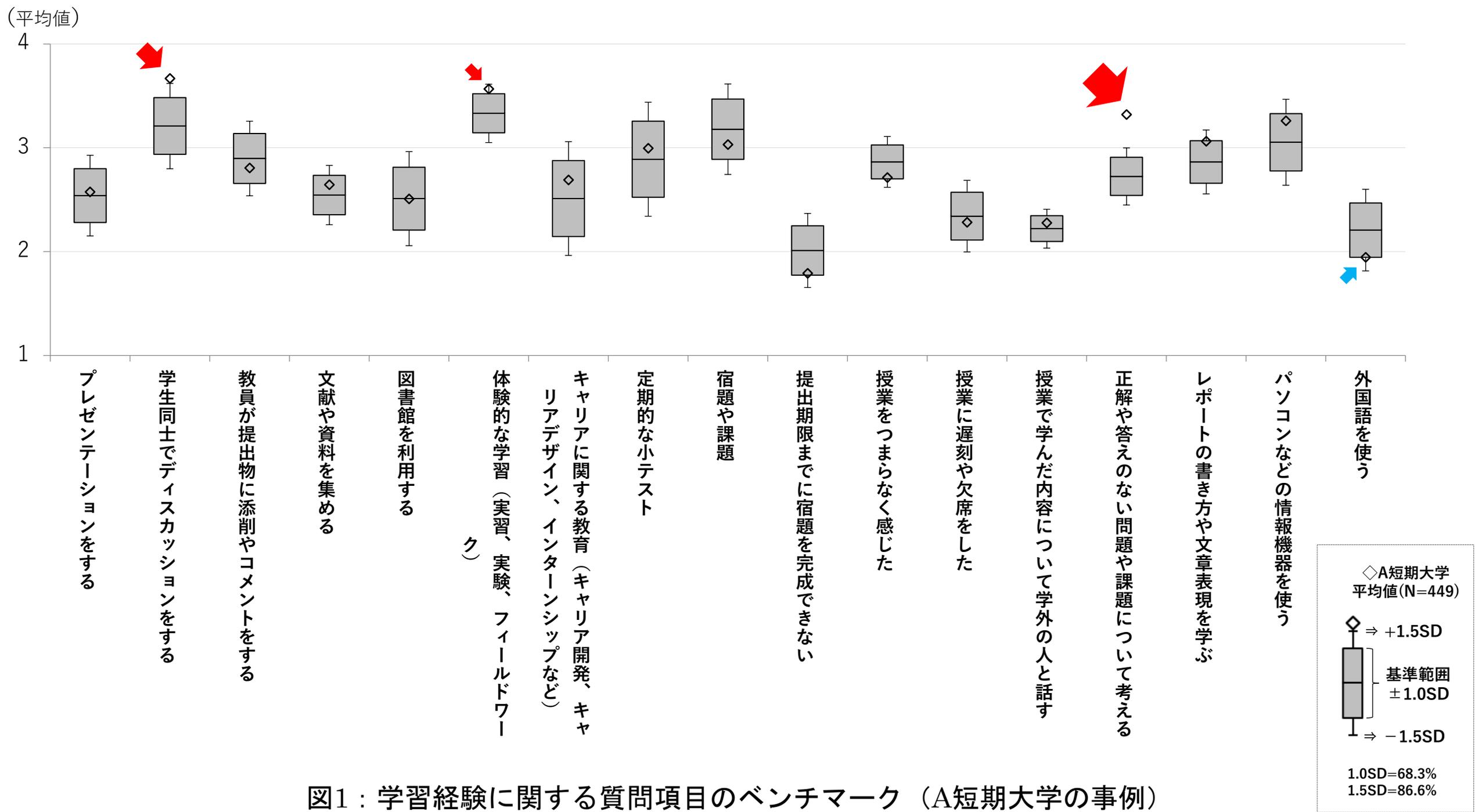
基準範囲は、一定の基準を満たす健常者（基準個体）の検査値分布の中央の95%区間として設定され、検査値を判断する基準（めやす）となる。しかし、正常・異常を区別したり、特定の病態の有無を判断する値ではない。

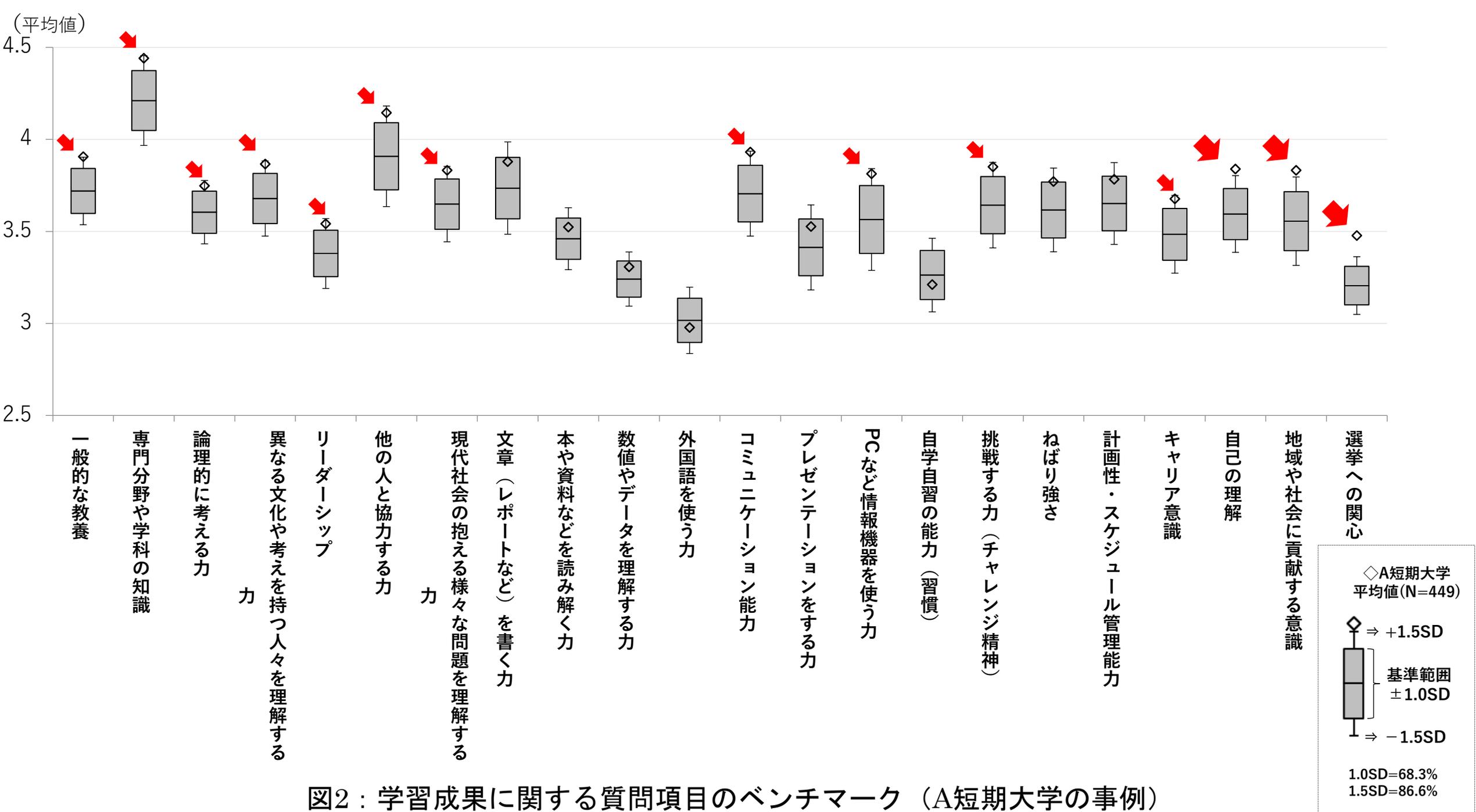
（日本臨床検査医学会，2018）

研究方法 (3) 基準範囲 (標準偏差)



結果





ポイント

短期大学として意図した教育活動とそれに伴う成果がどうなっているのかを識別する

- 基準範囲（1SD）内の増減は経年的に見ないと分からない
- 基準範囲 ± 1 以上は要検討項目
- 基準範囲 ± 1.5 以上は要注意項目

意図通りに値が高ければ、現状は良いと評価され得る

意図せず高い/低い部分があれば考察の余地があり、自らの強み/弱みの発見に結びつく可能性

短期大学の当事者による考察も必須

残された課題

- ベンチマークとしての客観的な基準範囲の設定：
単年度の考察や他の分野での考察を試み、基準範囲の妥当性を確かめる必要性
- 短期大学での活用可能性の実証：
基準範囲を用いたデータの示し方に対し、各短期大学関係者の共感と納得感を得る

参考文献

- 中央教育審議会大学分科会（2016）認証評価制度の充実に向けて（審議まとめ）。
- 保育士養成課程等検討会（2017）保育士養成課程等の見直しについて～より実践力のある保育士の養成に向けて～（検討の整理）。
- 日本臨床検査医学会（2019）基準範囲・臨床判断値. 臨床検査のガイドラインJSLM2018. 12-22
- 堺完・山崎慎一・黄海玉（2018）短大生調査を用いた短大の自己点検・自己評価に資する地域別比較の検討. 短期大学コンソーシアム九州紀要. 6. 21-29.
- Yamazaki S., Miyazato S. (2020) The Validity of Setting a Benchmark Standard Based on Academic Fields in the Indirect-Student Survey for Quality Assurance in Japan. International Journal for Cross-Disciplinary Subjects in Education. 11(1). 4189-4195.